第１学年２組　　進路学習指導案

1．題材名　「私ってどんな人？」

2．題材について

（１）題材観

　中学生のこの時期は、自我の意識が高まり、自分の将来について考えるようになる。しかし、「私って一体どんな人だろう？」「他者からどのように思われているだろう？」「自分の将来はどうなるのだろう？」ということが、とても気になったり、不安に感じたりしている。そのために、自分自身を客観的に見つめることや、自分の特性（長所、短所、能力や適性など）を考える場を設定することが必要である。さらに、将来の職業との関連において自己理解を深めることが、自分の将来の夢や希望を育み自己を生かし伸ばしていく意欲を持たせると考え、本題材を設定した。

（２）生徒観

　本学級の生徒は明るく元気がよく、何事にも前向きに取り組もうとする生徒が多い。しかし、全体的に受け身の生徒が多く、与えられたことに対しては行動できるが、自ら積極的に発言したり、行動したりする生徒は少ない。また、まだ幼さが残っている生徒も多く、あまり深く考えず、思ったことをすぐに言葉や行動に表す生徒がいる。

　事前に進路に関するアンケートをとったところ、以下のような結果だった。

1	将来について考えたことはありますか？	はい８１％　　いいえ１９％
2	将来つきたい職業はありますか？	はい５４％　　いいえ４６％
3	２ではいと答えた人 どんな職業ですか？	・保育士・看護師・介護士・公務員・医者 ・小学校の教員・競艇選手・獣医・酪農家 ・声優・ピアノの先生・店長・美術関係
4	２でいいえと答えた人 その理由はなぜですか？	「自分に向いている職業がわからないから」 「まだ将来のことまで考えていないから」
5	自分の特性（長所、短所、特技など）がわかりますか？	はい４６％　　いいえ５４％
6	将来の職業を選ぶ時に、最も大切な基準は何ですか？	「自分の興味や好みにあっている」・５７％ 「経済的に安定している」・・・・・３９％ 「自分の能力や適性にあっている」・３５％ 「社会や人のためになっている」・・２７％ 「失業がない」「親と同じ」「自然」「資格」

　ほとんどの生徒が「自分の将来」について感心を持っているが、半数近くの生徒は「就きたい職業」を具体的にイメージできていない。そして、「自分の興味や好み」を基準に職業を選びたいと考えている。また、半数以上の生徒が「自分の特性」が分からないと答え、「自分の特性」が分かると答えた中には、短所だけをあげている生徒がいた。さらに、「自分の能力や適性」を基準に職業を選びたいと考えている生徒の６１％が「自分の特性」がわからないと答えていた。

（３）指導観

一次では、自他の特性を表すキーワードが書かれたワークシートを準備し、そのキーワードの中から、自分の特性や級友の特性を見つめるための支援をする。そして、班学習を通して、自己評価と他者評価の違いや一致点について情報交換し、自分の特性を理解させたい。また、「こころの４つの窓」を利用して、自分の特性をまとめ分析することで、さらに伸ばしたい自分を考えさせたい。

二次では、いくつかの職業をとりあげ、その職業について、どのような特性を持っているかを、班で意見交流させることで、職業に対するイメージを膨らませたい。また、その職業に就くと仮定し、自分が向いているところや伸ばしたいところを考えさせることによって、自分の特性と職業を結びつけようとする態度を育てたい。

3. 題材の目標

○　自分の特性を見つめ、これから自分をさらに高めていこうとする態度を育てる。

○　自分の特性と職業を結びつけて考えようとする態度を育てる。

4. 指導計画(2 時間)

第一次　「自分の特性を見つけよう！」(1 時間　本時)

自分の特性を見つめ、これから自分をさらに高めていこうとする態度を育てる。

第二次　「私はどんな職業人になれるかな？」(1 時間)

自分の特性と職業を結びつけて考えようとする態度を育てる。

5. 研究主題との関連

研究主題　～自らの生き方を考え、主体的に進路を切り拓こうとする生徒の育成～

本題材では、自己の特性を理解し、その特性を生かしながら、将来の生き方・あり方を考えようとする態度を育てることで、「自らの生き方を考えようとする生徒の育成」を目指している。このことは、キャリア教育における能力別生徒像「情報活用能力」の育成につながると考える。

また、総合的な学習では「地域を知る」というテーマでさまざまな職場に行き、仕事内容や仕事の意義などをインタビューして発信する「直方市調べ」や、道徳では、「勤労」「社会への奉仕」を主題とする学習を行い、本題材と関連づけている。

6. 本時の指導

(１)　本時の主眼

自分の特性を見つめ、これからさらに自分の高めていきたいところに気づく。

(２)　日時：平成１８年１０月１７日（火曜日）　第５校時　　場所：１年２組教室

(３)　本時の学習過程

内容・活動	形態	指導上の留意点	目指す生徒像	配時
１．本時の学習のめあてを知る。	一斉			3

自分の特性を見つけよう！ 活動１：自分や級友の特性を見つめよう。 活動２：「こころの４つの窓」について。 活動３：今後の自分について。		○　黒板に本時のめあてと、本時の活動の手順を示すことで、本時の課題をつかませる。		
２．自分の特性や、級友の特性を見つめる。 ①　ワークシート１のキーワードの中から自分を表す言葉を選ぶ。 ②　ワークシート２のキーワードの中から班の人を表す言葉を選ぶ。 ③　班員が選んだキーワードを聞く。 ④　お互いが選んだキーワードについてどうしてそう思ったのかを情報交換する。	個 班	○　すべてのキーワードを概観させるために、ワークシート１は事前に目を通させておく。 ○　キーワードが書かれたものを準備することで、自他の特性を見つめることを支援する。 ○　情報交換することで、今までとは違う自分のイメージに気づかせたり、もう一度自分のよさを見直させたりする。	◎　他者からの情報を得て自分の特性を理解することができる。	２ ８ ５ ５
３.「こころの４つの窓」について、窓の意味を知り、ワークシート１を分類する。	一斉	○「こころの４つの窓」を図にまとめたものを板書し、視覚的に理解しやすいようにする。		１５

「こころの４つの窓」

相手／自分	知っている	知らない
知っている	開かれた窓 （自分も、ほかの人も知っている自分の姿）	秘密の窓 （自分は知っているけど、ほかの人は知らない自分の姿）
知らない	おどろきの窓 （自分は知らないけど、ほかの人が知っている自分の姿）	未来の窓 （自分もほかの人も知らない自分の姿）

    ４．一番自分が伸ばしていきたいものは何かを考える。 ５．次時の予告を聞く。	 個	○「こころの４つの窓」すべてが自分であることを伝える。 ○　各自で記入した「こころの４つの窓」を利用することで、さらに伸ばしたい自分を考えさせる。 ○　次時は、自分の特性と職業との関わりについて学習をすることを伝える。	 ◎　さらに自分の高めたいところに気づくことができる。	 １０ 2